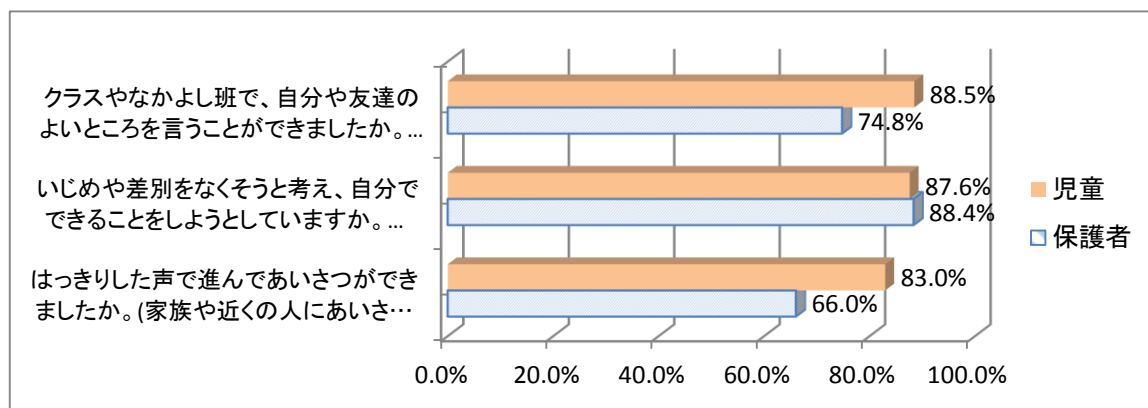


2学期の学校評価の結果と今後の取組

今年度もよりよい学校づくりを目指し、2回目の学校評価をお願いしました。御多用な中、御協力いただきありがとうございました。結果と今後の取組をお知らせいたします。

心づくり 互いのよさや違いを認め、思いやりの心をもってかかわる子ども



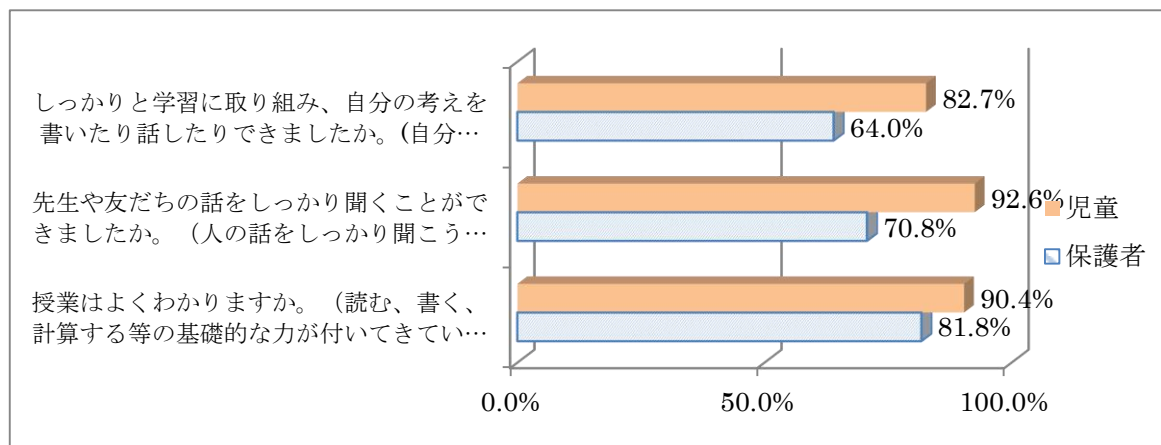
【成果】

今年度は重点目標を「自分や友達のよいところを見つけ、伝える」「いじめや差別について考え、自分にできることをしようとする」の2点にして様々な方策に取り組んできました。児童、保護者の9割近くが肯定的評価をしているとともに、教職員も半数以上が十分な達成感をもっています。乱暴な言動は減り、受容的な姿が多く見られ、温かい人間関係が育っています。人権教育、同和教育を学校の教育活動の中核にして取り組んできた成果だと思えます。

【課題】

「こころづくり」の主な方策にあいさつ運動の実施がありました。学年が主体になり、月ごとに担当してあいさつ運動を行いました。子どもたちは春から継続して意欲的にあいさつ運動に取り組んできました。地域からもあいさつがよくなっているという声も聞かれます。子どもたちの意識は高まっていると思いますが、地域の人や来客へのあいさつ等、時と場に応じた対応の仕方について、向上していくことが望まれます。

学びづくり 進んでかかわる中で、自分の考えを深め、表現する子ども



【成果】

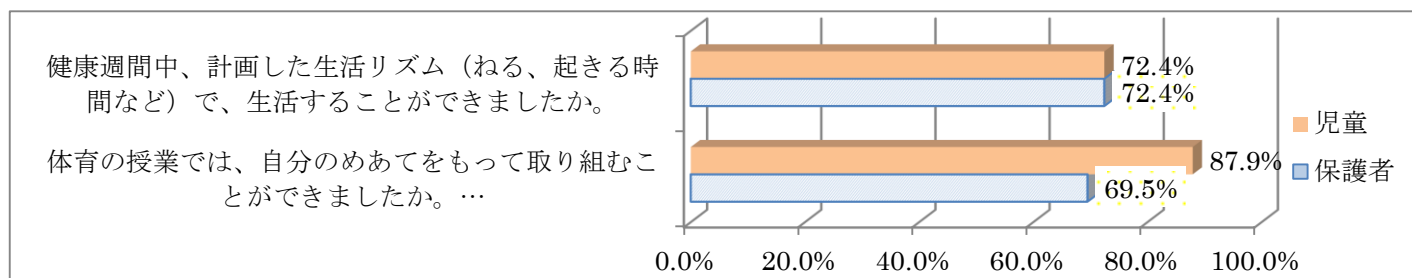
今年度の重点目標は「自分の考えをもち、他者に伝える力を高める」「話の内容を正しくききとる」の2点でした。授業は「話す」「きく」などの活動を意図的に取り入れるなどの工夫をしました。結果、児童の評価は高くなり、達成感が感じられます。学年が上がるにつれて、きく姿勢が身に付いてきています。

「授業がわかる」とした児童も9割になっていて、言語活動を重視した授業の成果とも言えます。

【課題】

「話す」「きく」についての児童の評価は高いものの、保護者評価は高くはありません。また教職員もB評価が多く、「心づくり」ほど達成感は高くありませんでした。大人と子どもが考える到達目標とで違いがあるかもしれません。子どもたちの実態に即した目標を示し、自分の力の伸びを実感できる取組をしていきます。

健やかな体づくり たくましく生きるための健康と体力を自ら高めようとする子ども



【成果】

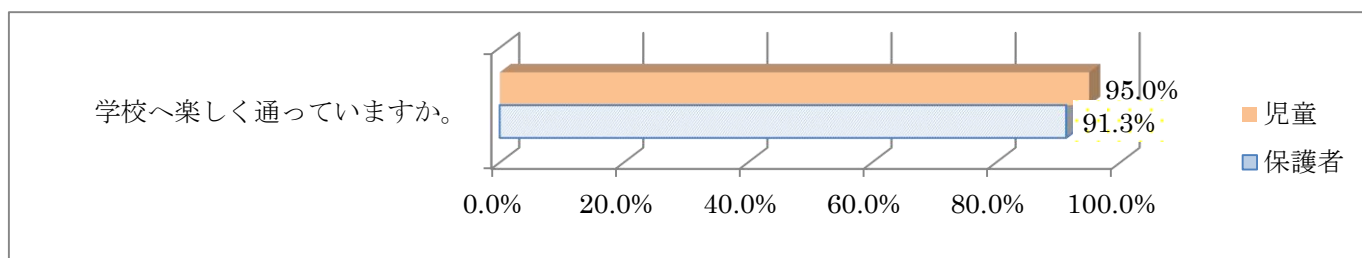
今年度の重点目標は「規則的な生活リズムで生活する」「めあてをもち進んで運動する」の2点でした。今回の調査は健康週間中のものでしたが、児童、保護者とも肯定的評価は7割でした。自分で設定しためあてを守る子どもが多くなってきました。また、運動面では9割近くの子どもたちが肯定的評価をしており、運動好きな一面がみてとれました。

【課題】

生活調査では児童、保護者とも否定的評価をしている割合が3割近くいます。今一歩というところでした。4月に行った全国学習状況調査でもゲーム等の利用による就寝時間の遅れ等が指摘されています。望ましい生活リズムで過ごせるように、保護者のご協力をお願いします。

運動面では体育授業だけでなく、運動会やマラソン大会、大縄大会などの行事を通して、運動の機会と場を工夫していきます。

最後に



児童、保護者とも9割以上が肯定的評価をしています。しかし、1割弱が否定的評価をしているもの事実です。すべての子どもたちにとって学校が、安心できる場、楽しく勉強できる場、友達と仲良くできる場にしていきたいと思います。